大阪大学経済学部単位修得チェッカー ver 1.0 使用マニュアル

ご使用の前に

①この単位修得チェッカーは大学から配布された「全学共通教育科目 履修の手引き2016」および「平成28年度 学生便覧」（経済学部）を参考に作ったものです。慎重に内容を検討して作成しておりますが，私の誤解，チェッカーの作成ミスなどがあるかもしれません。単位修得は非常に重要な問題です。このチェッカーはあくまでも目安と考えていただき，各自でご確認いただきますよう，よろしくお願いいたします。このチェッカーによって単位修得に関して不都合が生じても，責任は負いかねます。

②平成28年度入学の方を対象としています。他の年度は仕組みが違うかもしれません。違うか違わないかもわかりません。

③著作権ガー，とか言いませんので，勝手に改造してください（同じフォルダーに入れてあるもう一つのPDFファイルも利用してください）。でも，フィードバックしてくれたら，ウレシイ。

④使用者の皆さんに入力していただくのは**ピンク**のセルだけです。それ以外の部分は変えないでください。

マニュアル

①KOANの「単位修得状況照会」のページを表示します。「過去を含めた全成績」です。

②そこに表示された単位を，カテゴリーごとにチェッカーに入力します。**ピンク**のセルに入力してください。数学A・B，経済学A・Bは修得済みの場合は2を，未修得の場合は0を入力してください。

③「残り単位数」は，「卒業要件単位数」から「修得単位数」を引いた値です。正の数の場合（つまりまだ履修の必要がある場合）は，科目名のセルが**オレンジ色**に変わります。「残り単位数」のセルは**水色**になっていますので，これが0以下（＝白）になるように，来セメスター以降，頑張って下さい。負の数になっている場合は，「その他」に回します（自動で計算されます）。「全学共通教育科目」の全カテゴリーをクリアしたのに，「その他」のセルがオレンジになっている人は，不足分を補ってください。

④「全学共通教育科目」の合計欄には，ピンクのセルの合計値が入っています。「その他」は除いています（含めるとダブルカウントになります）。

⑤「専門教育科目」の「選択科目」，「他学部専門教育科目」，「コミュニケーションデザイン科目」，「グローバルコラボレーション科目」，「全学共通教育科目からの充足分」は卒業要件単位数が決まっているわけではありません（これらの合計が要件を満たせば良い）。したがって，「専門セミナー」，「研究セミナー」，「選択必修I」，「選択必修II」の卒業要件単位数をクリアしていれば，どこから単位を持ってきてもOKです。ただし，「他学部専門教育科目」，「コミュニケーションデザイン科目」，「グローバルコラボレーション科目」は合算して12単位，「共通教育系科目」からは4単位，「専門基礎教育科目」からは4単位，という上限がある点には注意してください。チェッカーでは「合計」の欄に，これらの上限を超えないように考慮した値が表示されます。

⑥卒業要件をクリアすると，「メッセージ」の欄に「卒業おめでとうございます！！」というメッセージがでます。

⑦画面右下の「計算欄」は自動計算のためのものです。変えないでください（本当は不要（＝各セルの計算式にちりばめられるもの）なのですが，私のようなポンコツはこうやって置いておかないと，わけがわからなくなります）。

⑧単位修得に関する細かいルールは，「全学共通教育科目 履修の手引き2016」および「平成28年度 学生便覧」（経済学部）をご覧ください。

チェッカーを作りながら思ったこと

　ここからは，単位修得（制度）について，私が感じたことです。専門教育科目で80単位修得する必要がありますが，ここに計8単位だけ，全学共通教育科目の単位を合算することができます。専門教育科目が大変そう，と思う人は，一般教養の授業を頑張って，単位をたくさん（必要数）取っておくとよいでしょう。

　このチェッカー，PCでなければ使えないという最大の欠点がありますが，今後はスマホで使えるとか，アプリにするとか，もうちょっと便利にしたいと考えているので，詳しい人は知恵を貸してください。

　チェッカーについて質問があれば，@fullcount120へお気軽にどうぞ。